



まるお

<学校教育目標>
自ら学び 自他を尊重し
心豊かでたくましい生徒の育成
<重点目標(スローガン)>
感謝+優しさ=笑顔と幸せへの道

発行：長崎市立丸尾中学校
文責：校長 川口 猛
令和8年5月1日(金) NO3

<道しるべその2>

全日本サッカー代表・キャプテン
を務めた長谷部誠さんの言葉
『迷った時こそ難しい
道を選ぶ』

覚えておきたい、私たちの行動の判断基準

早いもので、4月も終わりました。学校生活のリズムをつかみかけてきた頃ではないでしょうか。

とは言え、新年度最初は、気も遣うので、疲れを感じている人もいると思います。新しい生活の疲労がこれから出やすい時期です。ゆっくりできる時にはゆっくりして、積極的に休養をとるときはとるという、メリハリのある生活をしていきましょう。

さて、次にあげるのは、何でしょうか？

〇1月：元日、成人の日 〇2月：建国記念の日、天皇誕生日 〇3月：春分の日 〇4月：昭和の日
〇5月：憲法記念日、みどりの日、こどもの日 〇7月：海の日 〇8月：山の日 〇9月：敬老の日、秋分の日
〇10月：スポーツの日 〇11月：文化の日、勤労感謝の日

これらは、国民の祝日に関する法律で定められた祝日です。なお、国民の祝日が日曜日にあたるときには、その後においてその日に最も近い国民の祝日ではない日を休日とすることになっています。いわゆる振り替え休日です。

このうち、4月～5月初めに集中する祝日の期間をゴールデンウィークと呼んでいます。そのゴールデンウィークの後半を目前にし、新しい生活に慣れた今、私たちの行動規範について考えたいと思います。

私たちが行動をするときには、動機というものがあります。つまり、**私たちは行動する寸前に、脳の中で、その行動をとるか、とらないかを判断をするわけです。**

では、判断するとき、どのような考えで判断をしているのでしょうか？

次の例から考えてみましょう。

Aさんが、SNSを通して知り合ったDさんと日曜日に市内の大型商業施設で会う約束をした。そして、Aさんから、その日に一緒に遊ぼうと誘われた。



誘われたBさんは、実際に行って遊んだ。

誘われたCさんは、Aさんに断りのメッセージを送った。

さて、Bさんの行動とCさんの行動は、全く異なります。では、なぜ、異なるのでしょうか？次にあげる2つのことを考えてみましょう。

<問1> Bさんは、なぜ行ったのでしょうか？

<問2> Cさんは、なぜ行かなかったのでしょうか？

Bさんが行った理由として、以下のことが挙げられます。

- 〇どんな人か見てみたかった。
- 〇遊びたかったから。
- 〇別に問題ないと思ったから。
- 〇友人の知り合いだから別にいいと思った。

会いに行くという行動をした判断基準は何だったのでしょうか？

Cさんが行かなかった理由として、以下のことが挙げられます。

- 見知らぬ人と会うのが怖いから。
- SNSで知り合った人と会うのは良くないから。
- 誘拐されたりするかもしれないから

会に行かないと判断した基準は何だったのでしょうか？



Bさんの行動の判断の基準、Cさんの行動の判断の基準は何でしょうか。

私が、Bさんの立場で考えたとき、その行動の基準は、そうすることが『楽しい』いからその行動をとったと想像します。つまり、**Bさんは**、自分がどのように行動すればよいかを迫られたとき、『**楽しいか、楽しくないか**』で自分の行動を決めたと思われます。

では、Cさんはどのような基準で自分の行動を決めたのでしょうか？**Cさんは**、SNSで知り合った見知らぬ人と会うのが『**正しいのか、正しくないのか**』で自分の行動を決めたと思われます。

さて、皆さんも、自分の行動で、『どうしたらいいだろうか？』と判断を迫られることがあると思います。そのとき、判断するときの基準（つまり心の物差）はどうあるべきかを示しておきたいと思います。**私たちが、様々な危険に巻き込まれず、安心して、幸せな道を進むためには、判断するときに、『楽しいか、楽しくないかという基準で判断をするのではなく、判断の基準は、正しいか正しくないかで判断する。』ということです。**判断に迷ったときは、楽しいか楽しくないかではなく、正しいか正しくないかで判断し行動したほうが、間違いが少ないのです。現代社会は、様々なリスク（危険）が身の回りにあります。SNSに投稿したり、写真を載せたり、動画撮影したりすれば、楽しいかもしれませんが、個人情報が入り込み不特定多数に公開されたり、全く見知らぬ人と情報交換することで、最悪の場合誘拐されたり命の危険にさらされることもあり得ます。また、公園での遊び方であったり、友人と接し方であったり、公共の場での過ごし方であったり、『楽しい』ことを何よりも最優先にしてしまうと、たいてい、迷惑をかける行為になったり、相手を思いやらない行為になったりしがちです。正しいか、正しくないかで判断すれば、先ほどのSNSの例も、危険を回避できます。公共の場で注意をされたり、他人に迷惑をかけることもなく、本当の意味での『楽しさ』を感じるでしょう。

複雑な社会になり、価値観も多様化し、多様性の時代となった今日、いろんな考え方や行動の仕方があって当たり前です。しかし、その**多様化の時代であっても、私たちが考えなければならないのは、『自分が楽しければそれでよい』という利己的な考え方は、社会生活を送るうえで、通用しない**ということを認識しておくことだと思います。難しい言葉ですが、規範意識（きはんいしき）を持つことが大事です。社会が変わっても、人間同士の生活なのですから、互いの幸せのために、このことは忘れないでほしいと思います。まもなく、ゴールデンウィークが始まります。外出する機会、友人と遊ぶ機会も多くなることでしょう。そのようなときに、今回の話を思い出してください。

私たちが行動するときの判断基準は、『楽しいか、楽しくないか』ではなく『正しいか、正しくないか』です。